

2021年6月11日

各位

株式会社 りそな銀行

「りそなグループ大阪本社ビル」における再生可能エネルギー由来の電力への切替えについて

りそなグループのりそな銀行(社長 岩永 省一)は、2021年8月より、自社で保有する「りそなグループ大阪本社ビル」で使用する電力に、トラッキング付非化石証明書^{※1}が付与された再生可能エネルギーを導入いたします。今回の電力は株式会社エネットを供給元とし、大阪ガス株式会社および Daigas エナジー株式会社が代理店となるものです。

これにより「りそなグループ大阪本社ビル」で使用する全ての電力が、再生可能エネルギー由来のCO₂を排出しない電気^{※2}に切り替わり、年間約2,325トンのCO₂排出量の削減を見込みます。これは杉の木約160,000本が1年間に吸収するCO₂^{※3}に相当します。

りそなグループは、本業を通じ地域経済の活性化に努めるとともに、社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組み、多くの皆さまとともに持続的成長と環境・社会課題の解決の両立を推進してまいります。

【対象物件】

名 称	りそなグループ大阪本社ビル
所 在 地	大阪市中央区備後町2丁目2番1号
CO ₂ 排出削減量 ^{※4} (見込み)	▲2,325 t-CO ₂ /年

※1 資源エネルギー庁が証明する太陽光、風力、水力などの電源種別や、発電所所在地などの付加情報が付与された非化石証明書

※2 「地球温暖化対策の推進に関する法律」(温対法)の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」において、使用する電気の全部または一部を、CO₂排出計数をゼロとして、CO₂排出量(調整後)を算定することができます。

※3 杉の木は年間約14kg-CO₂/本のCO₂を吸収(出典:環境省/林野庁)

※4 エネットの2019年度調整後排出係数<<https://www.ennet.co.jp/environment/>>により算定



【りそなグループ大阪本社ビル】

以上